

器 0 9 医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管
一般医療機器 X線管支持床支持台 JMDN 37076000

特定保守管理医療機器／設置管理医療機器 **X線管球支持装置 TSS-1**

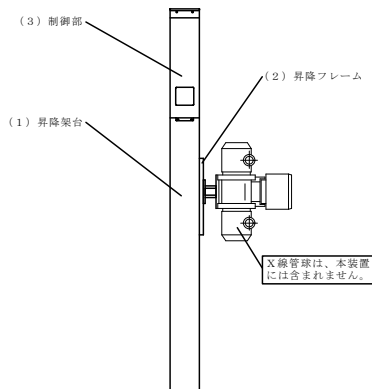
【形状・構造及び原理等】*

1. 形状*

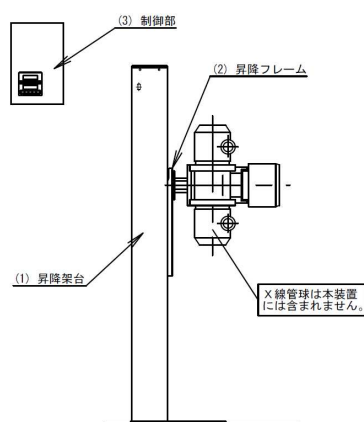
本装置は以下のユニットにより構成される。

- (1) 昇降架台
- (2) 昇降フレーム
- (3) 制御部

(院内)



(車載)



2. 動作原理*

本装置は電動駆動にてX線管球を上下動させる床上式のX線用保持装置です。追従対象装置の位置にX線管球をあわせるために電動の昇降モーターが作動し、チェーン駆動の昇降フレームが上下動します。

【使用目的又は効果】*

1. 概要

本装置は電動駆動にてX線管球を上下動させる床上式のX線用保持装置です。

2. 電気定格

定格電圧 : AC100V ±10%

周波数 : 50-60Hz

保護の形式 : クラス I (永久設置形)

保護の程度 : B 形

3. 本体寸法及び重量*

(院内)

寸法 (mm) : 400 (W) × 480 (D) × 1960 (H)

重量 : 約 80kg

(車載)

寸法 (mm) : 400 (W) × 480 (D) × 1500 (H)

重量 : 約 75kg

4. 性能

最大負荷重量 : 30kg

上下動速度 : 40 mm/sec ± 20%

詳細は取扱説明書を参照してください。

【使用方法等】*

使用環境条件

温度 : 15 ~ 30℃

湿度 : 40 ~ 80% RH (結露なきこと)

設置上の注意

1. 水等のかからない場所に設置してください。
2. 気圧、温度、湿度、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生じる恐れのない場所に設置してください。
3. 傾斜、振動、衝撃など安定状態に注意して設置してください。
4. 可燃性および爆発性の気体が発生する場所に設置しないでください。

操作方法

1. 本体のメインスイッチをONにしてください。
2. 制御部の昇降スイッチを操作し、X線管球を上下動させて追従対象装置に位置をあわせませす。追従対象装置（立位撮影台等）に連動用のポテンショメーターが装備されている場合には、制御部のオート／マニュアルスイッチをオートにすることにより自動的にX線管球を上下動させて位置をあわせませす。
3. 撮影が終わりましたら、本体のメインスイッチをOFFにして終了します。

装置の詳細な操作方法は、取扱説明書を参照してください。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意> **

- ① この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
- ② 撮影を開始する前に装置に異常がないこと、構成品、付属品が確実に固定されていることを確認すること。
- ③ 昇降フレームを動かすときには、本体の下に人や物が存在しないことを確認すること。
- ④ 本装置の傍で携帯電話など電磁波を発生する機器の使用は、装置に障害を及ぼす恐れがあるので使用しないこと。
- ⑤ 全てのコード類の接続が確実に、正確にされていることを確認

- ⑥装置に不具合が発生した場合は、電源を切り「故障中」等の適切な表示を行い、弊社の指定するサービス業者に連絡すること。
- ⑦この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
- ⑧この装置を廃棄する場合は、産業廃棄物となり、必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。

(但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品・消耗品の交換をした場合の年数であり、使用状況によっては異なる場合がある)

1. 医用機器の使用・保守の管理責任は使用者側にあります。
2. 使用者による日常および定期点検、指定された業者による定期保守点検を必ず行ってください。
3. 使用者による保守点検事項

項目	点検頻度	点検内容（概要）
駆動部	日常	装置をひととおり動作させ、異常音や異常な振動が無いか確認してください。
昇降フレーム	日常	昇降スイッチを操作して、昇降フレームを上下方向に動かし、異常音が無いか確認してください。
外観	日常	外装の破損（へこみ、破れ等）が無いかケーブル類に傷やよじれが無いか

項目	点検時期	点検内容
上限下限スイッチの確認	1 年	上下動させてマイクロスイッチの動作を確認
ケーブル類の点検	1 年	傷やよじれの確認
各部重要固定部	1 年	固定ねじの増し締め

--

2/2